専門が異なる場合で，シンポジウム遂行にとって重要な講演者と判断できる場合とする．なおシンポジウムの講演者所属欄において，所属を略称表記すると同一になってしまうものは，違いがわかるように研究グループ名や研究室名まで記載すること）．さらに，シンポジウムにおいて，「趣旨説明」や「まとめ」等の登壇者と講演者が同一研究室であることは認められない．また，提案者と講演登壇者が同一研究室である場合も審査の対象としないことがある．

※シンポジウムは，特定グループの広報の場ではなく，重要なトピックについて広く議論を進める場です．所属重複規制は，同一グループの広報の場にならないように設けた規則です．

5. **シンポジウムにおける占有時間規制**：素核宇領域においては，休憩時間を含めて原則として3.5時間に収めるものとし，4時間を超えてはならない．物性関係においては，休憩時間を含めて原則3.5時間以内とする．
6. **その他の約束ごと**：
   1） 招待講演，企画講演，チュートリアル講演，およびシンポジウムにおける講演の登壇者（およびプログラム記載）は1名に限るとする．
   2） 講演概要集の原稿はシンポジウムの「趣旨説明」や「まとめ」も含めて各登壇者2枚（1ファイル4MB以内）までとする．
   3） 提案者は，予め，講演者の方々に候補として推薦する旨の内諾を得ておく（重複登壇回避のため）．
   4） 海外在住の講演者の方については，原則として提案者を通して連絡を取るようにする（提案者以外の方が仲介者となる場合には，その旨ご連絡ください）．
   5） 前回の大会とあまり内容の変わらない招待講演，企画講演，チュートリアル講演ならびにシンポジウムは原則採択されない．

II. 招待講演・企画講演・チュートリアル講演，シンポジウムの提案方法

提案方法は，素核宇領域と物性領域とで異なります．下の記述に従ってそれぞれ，提案を募集します．

なお，提案申込書には

1） 見込まれる聴講者数，講演希望日程，講演不可日等の事項を必ず記入すること（領域によっては複数の企画を並行して開催できないために講演希望日などの希望に沿えないことがあります．講演日やその他の希望がある場合は，必要に応じて，提案者は領域運営委員に連絡をとるようにしてください）．
2） 登壇者の会員番号（非会員の場合はその旨を記入）と電子メールアドレスを必ず記入すること．

を徹底するようお願いします．

1. 素核宇領域

素核宇領域における招待講演，企画講演，チュートリアル講演，シンポジウムの企画は領域運営委員を中心として企画された後，素核宇領域プログラム小委員会および領域委員会において提案・審議され，理事会において実施する企画が決定されます．

各領域運営委員の氏名と所属は，次の通りです．

素粒子論領域：　川野　輝彦（東大院理）
　　浅賀　岳彦（新潟大自然科学）
　　青木　保道（名大素粒子宇宙起源機構）
素粒子実験領域：戸本　　誠（名大院理）
　　西田　昌平（KEK素核研）
理論核物理領域：肥山詠美子（理研仁科セ）
　　鈴木　克彦（東理大理）
実験核物理領域：矢向謙太郎（東大CNS）
　　中野　健一（東工大院理工）
宇宙線・宇宙物理領域：三代木伸二（東大宇宙線研）
　　郡　　和範（高エネ機構）

2. 物性領域

物性関係における招待講演，企画講演，チュートリアル講演，シンポジウムの企画を以下の通り一般会員から公募します．提案を希望する方は，以下の提案申込方法により，受付期間内にお申込みください．

1） 物性領域に含まれる分野
　領域 1：原子分子・量子エレクトロニクス・放射線
　領域 2：プラズマ
　領域 3：磁性
　領域 4：半導体，メゾスコピック系・局在
　領域 5：光物性
　領域 6：金属（液体金属・準結晶）・低温（超低温・超伝導・密度波）
　領域 7：分子性固体
　領域 8：強相関電子系
　領域 9：表面・界面，結晶成長
　領域10：構造物性（誘電体，格子欠陥，X線・粒子線，フォノン）
　領域11：物性基礎論・統計力学・流体物理・応用数学・社会経済物理
　領域12：ソフトマター物理・化学物理・生物物理
　領域13：物理教育・物理学史・環境物理
2） 公募受付期間
　2015年4月6日（月）～4月24日（金）
3） 提案申込方法
　下記URLより受付期間中にお申込みください．**登録が完了すると登録番号ならびにパスワードがメールで返信されますので，必ずご確認ください．**登録番号，パスワードがお手元に届かない場合は，登録時に入力したメールアドレスが間違っている，或いは，正常に登録されていないことが考えられますので，必ずお問い合わせください．

　受付期間中は登録番号，パスワードによって何度でも提案内容を修正できますので，期間中に入力内容に変更が生じた場合は，速やか且つ正確に修正をお願いします．

　URL: https://www.gakkai-web.net/gakkai/jps/session/
4） 提案する上での注意事項
　上記「I. 招待講演，企画講演，チュートリアル講演，シンポジウムの規則」に従ってお申込みください．
5） 採択の手順
　各領域において領域代表と領域運営委員が提案書を検討後，物性プログラム小委員会および領域委員会において提案・審議され，理事会において実施する企画が決定されます．各提案の採否の結果につきましては，提案者に後日通知します．

■2015年秋季大会講演募集要項

2015年秋季大会を下記の通り開催します．講演希望者は以下の諸注意をよくお読みの上，お申し込みください．**会員の方は締**

©2015 日本物理学会

切日より以前に余裕をもってご処置頂くなどのご協力をお願いいたします．また，決議3に関する講演申込の取り扱いについては，会誌本年1月号64ページをご覧ください．

A. 開催地，期日，開催分野

1. **大阪市立大学 杉本キャンパス**（大阪府大阪市住吉区杉本3-3-138）

期日：2015年9月25日（金）～28日（月）

領域：素粒子論領域，素粒子実験領域，理論核物理領域，実験核物理領域，宇宙線・宇宙物理領域

2. **関西大学 千里山キャンパス**（大阪府吹田市山手町3-3-35）

期日：2015年9月16日（水）～19日（土）

領域：領域1（原子分子・量子エレクトロニクス・放射線），領域2（プラズマ），領域3（磁性），領域4（半導体，メゾスコピック系・局在），領域5（光物性），領域6（金属（液体金属・準結晶）・低温（超低温・超伝導・密度波）），領域7（分子性固体），領域8（強相関電子系），領域9（表面・界面，結晶成長），領域10（構造物性（誘電体，格子欠陥，X線・粒子線，フォノン）），領域11（物性基礎論・統計力学・流体物理・応用数学・社会経済物理），領域12（ソフトマター物理・化学物理・生物物理），領域13（物理教育・物理学史・環境物理）

B. 講演申込締切期日

登壇者は講演申込と参加登録を同時に行ってください．

（講演申込は登壇者本人が責任をもって行ってください．）

＊Webページ　受付期間：5月1日（金）～5月24日（日）17時

＊概要集原稿提出　締切：7月~~24日（金）正午~~必着　**13日（月）**

※締切以後に到着したものは受理しません．　**27日（月）14時**

Webページ（講演申込および事前参加登録）：http://www.toyoag.co.jp/jps/index.html

問い合わせ先：

日本物理学会大会受付センター

E-mail: jps_gakkai15@gakkai-web.net

日本物理学会大会係　電話：03-3816-6202（大会専用）

E-mail: meeting-info@jps.or.jp

C. 講演発表者（登壇者）の資格

講演発表者（登壇者）は本会会員に限ります．

1）発表（登壇）希望者が非会員である場合は，講演申込締切期日までに入会申込手続を完了すること．

（入会手続を完了しない場合は，最終的に講演取消になります．）入会希望者は，本号とじ込みの入会申込書を利用する．利用できない場合は本会事務局まで請求すること．なお，入会申込中でもWebによる電子申込が可能ですのでご利用ください．

注意1: アメリカ物理学会（The American Physical Society），オーストラリア物理学会（Australian Institute of Physics），イギリス物理学会（The Institute of Physics），韓国物理学会（Korean Physical Society），中華民国物理学会（The Physical Society of Republic of China），ドイツ物理学会（Deutsche Physikalische Gesellschaft），香港物理学会（The Physical Society of Hong Kong），ポーランド物理学会（The Polish Physical Society），メキシコ物理学会（Mexican Physical Society），ヨーロッパ物理学会（European Physical Society），フランス物理学会（The French Physical Society）の会員は本会会員と同等に扱う．ただし，これは各協定国在住の研究者の便宜を図るためであり，継続的に日本国内に在住して研究活動を行う者は日本物理学会会員として登壇することが協定の趣旨上望ましい．

注意2: 領域12（生物物理）及び領域13（物理教育）に関わる分野を共催する日本生物物理学会および日本物理教育学会の会員も，当該領域への申込に限り，本会会員と同等に扱う．

注意3: 領域11に限っては，下記の条件（a～c）を全て満たせば非会員でも講演発表者（登壇者）となることができる．

（a）「日本機械学会」あるいは「日本気象学会」の会員であり，かつ，学生であること

（b）本会会員が共同講演者となっていること

（c）参加費（非会員学生現地料金）に加えて，登壇料（5,000円）を支払うこと

2）発表者（登壇者）が会員である場合は，共同講演者の中に非会員の方が含まれていても差しつかえない．

D. 講演発表の形式

口頭発表およびポスター発表（物性の一部の領域のみ）とする．詳しくは，「G. 各領域の開催方針」を参照．

a）口頭発表

素粒子実験領域：1題目につき一律15分の講演時間，5分の質問時間，計20分とする．

上記以外の領域：1題目につき一律10分の講演時間，5分の質問時間，計15分とする．

b）ポスター発表

講演時間は1題目につき一律120分．展示時間は講演時間を含む240分．

E. 講演申込数

講演発表者（登壇者）としての講演申込は1人3件までとする．ただし，シンポジウム，招待講演，企画講演，チュートリアル講演はこの制限外である．

（講演発表者（登壇者）の申込み件数の制限は，年次大会とは異なっておりますのでご注意ください．）

F. 講演申込および参加登録の方法

登壇者には講演申込と事前参加登録を同時に行っていただきます．参加登録を伴わない講演申込は受付られませんのでご注意ください．申込後，受付確認の通知メールが届きますので，必ずご確認ください．通知メールが届かない場合には，申込みが完了していない場合がございますので，必ず受付センターまでお問い合わせください．また，登録後の講演取消に伴う**返金は致しません．**

1. Webページによる申し込みと登録　**324**

1）本号○○ページの「Webページによる講演申込と参加登録の方法」を熟読の上，次のURLより申し込むこと．

http://www.toyoag.co.jp/jps/index.html

Webで申し込む際の**会員番号は5桁の数字と1桁のアルファベットを入力してください．**

会員番号入力欄には，協定学会会員は “K99999”

入会申込中の方は “N99999”

※領域11で登壇する非会員学生（C項，注意3の条件を満たしている方）は **“R99999”**

アクセスキーは，いずれも共通で “2015S” です．

2）講演番号は，講演申込書式に記載されたアドレス宛に6月末頃に通知の予定．それを過ぎても通知が届かない場合には上記B項の大会受付センターまで問い合わせること．

なお，入会申込中でもWebによる電子申し込みが可能ですのでご利用ください．

©2015 日本物理学会

注意：関連した講演の連続発表を希望する場合は，講演申込の入力フォームの「連続講演」欄にご記入ください．

2. 郵送により講演申込・参加登録・概要集原稿提出

前大会より，講演申込・参加登録および概要集原稿提出の郵送による受付は，原則，廃止いたしました．

ただし，やむを得ない理由がある場合には，5月15日(金)までに，下記，事務局までご連絡ください．

問い合わせ先：〒113−0034 東京都文京区湯島2−31−22
湯島アーバンビル 8F
日本物理学会 大会担当
Tel: 03-3816-6202　Fax: 03-3816-6208
E-mail: meeting-info@jps.or.jp

G. 各領域の開催方針

各領域で開催方針が異なるため，「D項」および以下を熟読の上，間違いのないよう申し込むこと．

1. ポスターセッションのある領域

領域3，領域4，領域5，領域6，領域8，領域9，領域10，領域11，領域12． 希望者は講演申込の際に「発表形式」の「ポスターセッション」を「希望する」にチェックをすること．

注意：ポスターセッションを行う領域において，最終的にどの講演をポスターセッションにするかは，希望および講演申込数を考慮して領域運営委員の責任において決定し，プログラム作成後，講演申込者には講演番号（初めにPS と明記）により通知する． また，上述にかかわらず領域運営委員の判断においてポスターセッションを中止する場合もあり，その場合も講演番号により通知する．

2. 領域とキーワード一覧（下記　別表1）

キーワードが提示されている領域において，キーワードが1つも選択されていない講演申込は受け付けられない場合がありますので，ご注意ください．

キーワードを見直す際の参考にするため，講演を分類するのに適切と思われるキーワードなどのご意見は，各領域運営委員までお知らせください．

3. 合同セッションのある領域（下記　別表2）

希望者は指定事項をWeb申込ページあるいは講演申込書の適切な欄に記入すること．

4. 英語講演について

全領域で英語講演の募集を行う．希望者は講演申込の際に「英語講演」を「希望する」にチェックをすること．詳細は申込Webを参照すること．

H. 追加講演申込

追加講演は何らかの理由により一般講演の申込ができなかった方を救済することが目的ではなく，講演申込締切後に確認された重要な発見等を対象としている．

1. 追加講演を認める領域

素粒子論領域，素粒子実験領域，実験核物理領域，宇宙線・宇宙物理領域，領域1，領域3，領域4，領域6，領域7，領域8，領域9，領域10 上記以外の追加講演は対象としていない．

なお，追加講演の採否は，領域代表，副代表，領域運営委員が協議のうえ決定する．

2. 追加講演の申込方法

追加講演希望者は，以下の要領で申し込む．なお，追加講演発表の資格は通常の講演発表者（登壇者）の資格と同じである．

1） 追加講演の希望者は，下記様式（追加講演申込書）を該当する領域の領域代表，または領域運営委員（任期2014年10月～2015年9月まで領域運営委員（ただし，各領域で領域代表または領域運営委員から指示がある場合にはそれに従う））に，原則として，次の期間内に送付する．（委員は会誌2015年3月増刊号プログラムの領域運営委員一覧表を参照）

追加申込期間：素核宇領域：8月3日(月)から9月18日(金)まで（大会開始の1週間前まで）

物性領域：8月3日(月)から9月9日(水)まで（大会開始の1週間前まで）

2） 領域代表，または，領域運営委員は，申請の妥当性を判断し，採否と意見，講演可能な会場と時間帯をつけて，領域担当理事と事務局に報告する．

3） 領域代表または領域運営委員は，追加講演希望者に採否を連絡する．採択の場合は，追加講演希望者に，会場・時間帯も連絡する．

なお，追加講演はプログラムには掲載されないが，後日会誌の“本会記事”欄に掲載するので，追加　講演申込書は正確に記入すること．

追加講演申込書（様式A4判）　　年　　月　　日 領域名 講演者名　　所属 講演題目 連絡先：電話　　E-mail 講演の要旨（200字以内）： 追加講演が必要な理由（追加講演は何らかの理由により一般講演の申込ができなかった方を救済することが目的ではない）： 講演者が，本大会中に他に登壇予定がある場合，講演番号と講演題名をお書き下さい（一人当たりの講演数は3件以内に制限されています）：
領域代表または領域運営委員による判断：　　採 ・ 否 意見： 講演可能時間セッション名， 時間 会場名

I. 講演概要集原稿の書き方

「講演概要集原稿の書き方」を熟読の上，原稿を提出ください．講演概要集原稿の提出枚数は1題目につき1枚（2 MB以内）限りとします（除：招待・企画・チュートリアル講演，シンポジウム講演）．PDF原稿の送信は，http://www.toyoag.co.jp/jps/index.html にある講演概要テンプレートを参考にして作成してください．

注意：前大会より，講演申込・参加登録および概要集原稿提出の郵送による受付は，原則，廃止といたしました．ただし，やむを得ない理由がある場合には，下記，事務局までご連絡ください．

©2015 日本物理学会

問い合わせ先：〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-22
湯島アーバンビル　8F
日本物理学会　大会担当
Tel: 03-3816-6202　Fax: 03-3816-6208
E-mail: meeting-info@jps.or.jp

講演概要集原稿の提出および著作権の帰属について

1.　講演概要集原稿の提出

講演概要集原稿は，それによって予め講演内容を聴講者に徹底させ，質疑応答の便に供し，あわせて講演時間を短くし，かつ来聴出来ない会員に講演内容を速報するものなので，必ず提出すること．

2.　講演概要集著作権の帰属

本会年次大会・秋季（春季）大会の講演概要集の複写複製を容易にし利用の円滑化をはかるため，本会では1992年秋の分科会から，講演概要集に掲載される概要の著作権は，会誌，JPSと同様，著者から日本物理学会に委譲していただくこととした．著作権とは，著作物を“複製，翻訳等の方法で排他的に利用する権利”で，これは他人に譲渡する事の出来るものである．概要集原稿を提出される方は以下のことをご了承の上，原稿を提出していただきたい．提出された概要原稿については，著作権を日本物理学会に委譲することに同意されたものとみなす．

1）　講演概要集に収録された講演概要の著作権
講演概要集に掲載された講演概要の著作権は，日本物理学会に帰属する．

2）　講演概要集に収録された講演概要の利用
転載等による記事の利用にあたっては，日本物理学会の承認を必要とする．ただし，会誌60巻9号会告に掲載した「JPSJ・会誌・大会概要集・大学の物理教育掲載論文利用許諾基準」の条件を満たす場合にはその限りでない．なお，その後の改訂版は，http://www.jps.or.jp/books/chosakuken/files/pdf-kyoka-kijyun.pdfに掲載されている．

J.　液晶プロジェクタの使用について

全会場に設置する（除：ポスターセッション会場）．接続ケーブルはミニD-sub15ピンの標準的なものを用意する．ただし，ノートPC（ミニD-sub15ピンのコネクタが装備されていないものは，別途変換ケーブルやアダプタ等が必要）は各自用意し，使用はセルフサービス．接続および表示のテストを必ずセッション開始前や休憩時間に行うこと．また，合わせて1対2の切替器も用意するので，前の講演者が終了するまでに結線を各自すませ，セッションが遅れることのないようにすること．

※PCとプロジェクタの相性等の問題により映写できない場合があり得るので，各自代替策（USBフラッシュメモリにバックアップしておく等）を用意しておくこと．

K.　インフォーマルミーティングについて

申込希望者は，締切期日までにWebでお申込ください．申込者には後日，会場と日時を連絡します．なお，本会が世話するのは会場のみとなります．

＊インフォーマルミーティング申込締切：5月22日（金）

申込先：https://www.gakkai-web.net/gakkai/jps/informal/

L.　領域Webについて

年次大会・秋（春）季大会のプログラム編成にあたって，各領域運営委員・領域正副代表と会員との間の情報交換のために，情報システム運用委員会・WWW運営小委員会の協力のもとに領域Web（http://div.jps.or.jp/）が設置されています．物理学会のホームページの「年次大会・秋（春）季大会　」のページからもリンクされており，この領域Web中の各領域のページは，それぞれの領域の領域運営委員および領域正副代表の中から選ばれた管理者が管理しています．

M.　各領域からのお知らせ

【領域1】学生プレゼンテーション賞について

領域1では，大会中に優秀な発表を行った学生を表彰し今後の活躍を応援する目的で学生プレゼンテーション賞を設けています．詳細は，領域Web　http://www.r1.div.jps.or.jp/index.htmlをご覧ください．

【領域2】学生優秀発表賞について

領域2では，大会中に優秀な発表を行った学生を表彰し今後の活躍を応援する目的で学生優秀発表賞を設けています．詳細は，領域Web　http://www.r2.div.jps.or.jp/index.htmlをご覧ください．

【領域10】学生奨励賞について

領域10では，第70回年次大会（2015年3月）より，優れた一般講演発表を3回以上行った学生の方々に対して「学生奨励賞」を授与することになりました．詳細は，領域Web　http://www.r10.div.jps.or.jp/index.htmlをご覧ください．

【領域5】領域５では、国際光年（http://www.light2015.org/Home.html）を記念して、本大会ににおけるポスター発表を対象に、国際光年記念学生ポスター賞を設けます。皆様の応募をお待ちいたしております。詳細は上記の領域５ホームページをご覧ください。
領域5ホームページ　http://www.r5.div.jps.or.jp/index.html

（別表1）領域とキーワード一覧

素粒子論領域 領域代表：北野龍一郎　領域副代表：波場直之　領域運営委員：川野輝彦　浅賀岳彦　青木保道
キーワードとしてTh（理論），Ph（現象論），Lat（格子理論）から2つ以内の組み合わせを選択する．ただし，記入欄には次の1から6の選択肢の中から該当する番号を記入する． （1）Th,　（2）Ph,　（3）Lat,　（4）Th/Ph,　（5）Th/Lat,　（6）Ph/Lat
素粒子実験領域 領域代表：久世正弘　領域副代表：杉山　晃　領域運営委員：戸本　誠　西田昌平
講演内容を最も的確に示すと思われるキーワードを以下の第一キーワード，第二キーワード（数字）から各1つ選択する．第一キーワードで（2）測定器 を選択した場合は，更に第三キーワード（アルファベット）から1つ選択すること．原則として選択されたキーワードに基づいてプログラム編成を行う． 第一キーワード （1）物理　（2）測定器 第二キーワード （3）B・チャームの物理　（4）Kの物理　（5）タウの物理　（6）ミューオンの物理　（7）ニュートリノの物理　（8）トップの物理　（9）ヒッ

©2015 日本物理学会

グス・電弱相互作用の物理 (10) 新粒子探索 (11) ハドロンの物理 (12) 対称性の破れ (13) その他の物理
第三キーワード
A: 半導体検出器 B: 光検出器 C: ガス検出器 D: 飛跡検出器 E: カロリメータ F:粒子識別 G:トリガー H: DAQ／読出回路 I: 計算機／ネットワーク J: シミュレーション K:加速器／ビームライン L:測定器 (合同) M: その他の測定器

理論核物理領域
領域代表：初田哲男 領域副代表：中務 孝 領域運営委員：肥山詠美子 鈴木克彦

以下の第一，第二キーワードから一つずつ選択してください．さらに選択したい場合は，続けて三番目以後に選択入力してください．
○第一キーワード (対象)
(1) 核力・少数系 (2) 安定核 (3) 中性子過剰核 (4) 陽子過剰核 (5) 軽い核の構造 (6) 中重核の構造 (7) 重い核の構造 (8) 高スピン状態 (9) ハイパー核・ストレンジネス (10) 核反応・重イオン反応 (11) 核分裂・核融合・超重核 (12) 宇宙核物理 (13) 弱い相互作用・ニュートリノ反応 (14) ハドロン構造・相互作用 (15) エキゾチックハドロン (16) 原子核-メソン系 (π原子，K原子核など) (17) 核物質・クォーク物質 (18) 高エネルギー重イオン衝突 (19) 高エネルギーハドロン反応 (20) その他
○第二キーワード (手法)
A. 有効相互作用・G行列 B. 殻模型 C. クラスター模型 D. 平均場・RPA E. 分子動力学 F. チャネル結合法・歪曲波模型 G. 核反応シミュレーション H. 摂動論的QCD I. 格子QCD J. ハドロン有効模型 K. カイラル摂動・有効理論 L. QCD和則 M. 繰り込み群 N. 多体基礎論 O. その他

実験核物理領域
領域代表：青井 考 領域副代表：小沢恭一郎 領域運営委員：矢向謙太郎 中野健一

以下のキーワードから2つ以内を選択することとする．適切なキーワードがない場合には，「V:その他」を指定の上，新たなキーワードの候補を要旨欄に記入する． 研究目的に関わらず講演内容が主に実験装置に関する場合は第一キーワードに M, N, O, P, Qのいずれかを指定すること． 原則として選択した第一キーワードによって分類され，セッションに振り分けられる．
A:対称性・基礎物理 B:不安定核 C:ハイパー核・ストレンジネス D:中間子生成・ハドロン構造 E:高スピン・核構造 F:核モーメント G:高エネルギー重イオン反応 H:軽イオン核反応 I:宇宙核物理 J:核融合・核分裂・超重核 K:エキゾチックアトム L:応用・学際 M:加速器 N:イオン源・ターゲットO:粒子・光検出器 P:データ収集・計算機ソフト Q:複合測定器系 R:高エネルギーQCD・核子構造 (合同) S:二重ベータ崩壊 (合同) T:暗黒物質探索 (合同) U:その他

宇宙線・宇宙物理領域
領域代表：田代 信 領域副代表：中畑雅行 領域運営委員：三代木伸二 郡 和範

A: 高・超高エネルギー宇宙線 B: 高エネルギーガンマ線 C：高エネルギーニュートリノ D: 宇宙物理 E: 太陽系宇宙線 F: X線・γ線 G: 宇宙線生成核種 H:重力波 I: ニュートリノ振動 (宇宙線・宇宙物理，素粒子論，素粒子実験合同) J:暗黒物質 K: 宇宙背景輻射 (宇宙線・宇宙物理，素粒子実験合同) L:相対論 M:宇宙論 N:その他

領域1 (原子分子・量子エレクロニクス・放射線)
領域代表：東 俊行 領域副代表：井元信之
領域運営委員：穂坂綱一 藤田津子 後藤隼人 永谷清信 佐藤真一郎 青木貴稔

第一キーワードから1つ，第二キーワードから最も関連のあると思われるものから順に3つまでご記入ください．融合セッション (原子分子・放射線) の第二キーワードは原子・分子，放射線物理，融合のどれからでも選ぶことができます．プログラム構成の都合上，原子・分子または放射線物理が第一キーワードであっても領域運営委員が融合セッションに組み入れる場合，もしくは逆に，融合セッションが第一キーワードであっても原子・分子または放射線物理のセッションに組み入れる場合があります．
○第一キーワード
(1) 原子分子 (2) 量子エレクトロニクス (理論) (3) 量子エレクトロニクス (実験) (4) 放射線物理 (5) 融合セッション (原子分子・放射線)
○第二キーワード
(主として原子分子分野)
(11) 原子・分子一般 (12) 原子・分子・イオンの構造 (13) 電子－原子・分子・イオン衝突 (14) 陽電子－原子・分子・イオン衝突 (15) イオン－分子反応 (16) イオン－原子・分子・イオン衝突 (17) イオン－固体表面衝突 (18) 多価イオン (19) クラスター (20) エキゾチックアトム (21) 原子・分子実験技術 (22) 原子・分子・イオン分光 (23) 少数多体系 (24) 強光子場物理
(主として量子エレクトロニクス分野)
(25) 量子エレクトロニクス一般 (26) レーザー (27) 高強度レーザー (28) X線レーザー (29) 超短光パルス (30) コヒーレント過渡現象 (31) 量子干渉効果 (32) 微小共振器 (33) フォトニックバンド (34) 光多重散乱 (35) 近接場光学 (36) 分光 (37) 原子・イオン分光 (38) 気相分子分光 (39) イオントラップ (40) 原子の冷却・トラップ (41) 量子縮退気体 (実験) (42) Bose粒子系の理論 (43) Fermi粒子系の理論 (44) Bose-Fermi混合系の理論 (45) 原子光学 (46) 非線形光学 (47) 量子光学 (48) 光子統計・スクイジング (49) 量子測定 (50) 量子暗号 (51) 量子通信 (52) 量子コンピュータ (53) エンタングルメント (54) デコヒーレンス (55) 量子情報

©2015 日本物理学会

（主として放射線分野）
(56) 放射線物理一般　(57) 電荷移動　(58) 固体内原子衝突　(59) 阻止能・エネルギー損失　(60) 2次電子放出　(61) 2次イオン放出　(62) イオン－表面相互作用　(63) イオン－液体相互作用　(64) チャネリング　(65) 結晶場　(66) 相対論的効果　(67) 放射線損傷　(68) 高密度電子励起効果　(69) 材料・物質改質　(70) クラスター・微粒子　(71) 生体・高分子　(72) 放射線計測
（主として原子分子放射線融合分野）
(73) イオン―分子相互作用　(74) イオン―表面相互作用　(75) 生体・高分子
領域1ホームページ　http://www.r1.div.jps.or.jp/index.html
[お知らせ] 領域1では学生プレゼンテーション賞を設けています．詳しくは領域1ホームページをご覧ください．

領域2（プラズマ）
領域代表：藤澤彰英　領域副代表：上杉喜彦
領域運営委員：藤田隆明　藤岡慎介　本多　充　難波愼一　成行泰裕　井戸　毅

第1，第2，第3キーワードから一つずつ選択してください．
○第1キーワード（セッション）
（1）プラズマ基礎　（2）プラズマ科学（応用を含む）(3) 核融合プラズマ　(4) プラズマ宇宙物理
○第2キーワード（研究内容）
（11）波動・加熱・不安定性　（12）輸送・閉じ込め特性（乱流・統計的性質等を含む）（13）非線形現象（自己組織化，カオス，乱流等）(14) 原子過程・分光・診断法　(15) 高エネルギー密度物理　(16) 強結合系　(17) プラズマ応用　(18) 放電物理，電離・プラズマ生成等　(19) 磁気リコネクション・粒子加速・ダイナモ現象　(20) 数値解析・シミュレーション法　(21) プラズマ新領域　(22) その他
○第3キーワード（研究対象）
（31）宇宙プラズマ・天体プラズマ　(32) 基礎プラズマ（33）磁場閉じ込め核融合（トーラス系，開放系等，周辺プラズマ，プラズマ・壁相互作用を含む）(34) 慣性閉じ込め核融合（レーザー核融合等）(35) 非中性プラズマ・ダストプラズマ・反応性プラズマ　(36) プラズマ源・イオン源　(37) 高強度レーザー生成プラズマ（相対論プラズマ，高エネルギー光子輸送を含む）(38) プラズマ応用機器（プロセシング，加速，推進，発振等）(39) その他
領域2ホームページ http://www.r2.div.jps.or.jp/index.html
[お知らせ] 領域2では学生優秀発表賞を設けています．詳しくは領域2ホームページをご覧ください．
領域2メーリングリストが開設されています．上記ホームページに詳細情報があります．

領域3（磁性）
領域代表：佐久間昭正　領域副代表：坂井　徹
領域運営委員：井原慶彦　左右田　稔　河野　浩　浅野貴行　壬生　攻　大西弘明

第一，第二，第三キーワードから各1つ選択．　特に第一キーワードはプログラム編成時に優先されることが多いので，よく検討してください．
○第一キーワード（研究分野）
(1) ナノ粒子・薄膜・人工格子磁性　(2) スピントロニクスおよび微小領域磁性　(3) 表面・界面磁性　(4) 遍歴磁性　(5) 化合物磁性　(6) 酸化物磁性　(7) f電子系磁性　(8) スピングラス・ランダム系・アモルファス系　(9) 量子スピン系（一次元系）(10) 量子スピン系（二次元系）(11) 量子スピン系（クラスター系および一般）(12) フラストレーション系　(13) 少数キャリア系強磁性　(14) 磁気共鳴一般　(15) 実験技術開発　(16) 磁性一般　(17) マルチフェロイクス
○第二キーワード（物質・現象）
(18) 遷移金属酸化物　(19) 遷移金属化合物　(20) 遷移金属・合金　(21) 準結晶　(22) 磁性半導体・絶縁体　(23) 希土類化合物・合金　(24) 有機磁性体　(25) 磁性分子・クラスター　(26) 硼化物・炭化物　(27) 異種物質複合体　(28) 人工ナノ磁性体　(29) 新物質　(30) スピン流　(31) 磁化ダイナミクス　(32) その他
○第三キーワード（研究手段）
(33) 理論　(34) 磁化・帯磁率測定　(35) 磁気異方性・磁歪測定　(36) 核磁気共鳴　(37) 電子スピン共鳴　(38) 中性子散乱　(39) 熱測定　(40) 光学測定　(41) 電気物性測定　(42) 磁気伝導測定　(43) 光電子分光　(44) X線・粒子線　(45) トンネル分光　(46) ドハース効果　(47) 超音波　(48) μSR　(49) メスバウアー分光　(50) 核物性　(51) その他
(注) キーワード（表面・界面磁性）は，領域9（表面・界面，結晶成長分野）のキーワード（表面磁性）と合同セッションを設ける．
(注) キーワード（マルチフェロイクス）を選んだ口頭講演は，領域8（強相関系：高温超伝導，強相関f電子系など）の関連するキーワードと合同セッションを設ける．

領域4（半導体，メゾスコピック系・局在）
領域代表：岡本　徹　領域副代表：都倉康弘
領域運営委員：岡　隆史　藤元　章　佐藤昌利　中島　峻　原田幸弘　阪野　塁

第1キーワードは発表して頂くセッションを決めるためのものです．一つだけ選んでください．第3キーワードは必要に応じて複数選んでください．グラフェン関連・ディラック電子系の講演については領域7との間で関連性が強いと思われる講演を組み合わせて合同セッ

©2015 日本物理学会

ションを組むことがあります．またトポロジカル絶縁体・トポロジカル超伝導体の講演は領域8, 9と合同セッションを組むことがあります．
なお，領域4にはメーリングリストが用意されています．学会に関する各種情報や意見の交換が行われますので，発表される方は是非登録をお願いします．メーリングリストとその登録に関しては，領域4のWeb（http://www.r4.div.jps.or.jp/index.html）をご覧ください．
○第1キーワード（セッション名，一つのみ選択）
(1) 半導体スピントロニクス　(2) 量子井戸・超格子　(3) 量子ホール効果　(4) 光応答　(5) 量子細線　(6) 量子ドット　(7) 微小接合　(8) グラフェン関連・ディラック電子系　(9) トポロジカル絶縁体・トポロジカル超伝導体　(10) 局在　(11) 領域横断テーマ
○第2キーワード
(12) 理論　(13) 実験
○第3キーワード（必要に応じて複数選択）
(14) 磁性半導体　(15) 層状・低次元物質　(16) アモルファス・微粒子・クラスター　(17) 不純物・格子欠陥　(18) 輸送現象　(19) 励起子　(20) バンド構造　(21) 整数量子ホール効果　(22) 分数量子ホール効果　(23) 核スピン　(24) アンダーソン局在・転移　(25) 拡散伝導・バリスティック伝導　(26) 微小接合・微小超伝導体　(27) 電子相関　(28) 量子ビット・量子情報　(29) 表面伝導・エッジ伝導　(30) 超伝導　(31) マヨラナ粒子　(32) 新物質　(33) スピン流・スピン依存伝導　(34) スピン軌道相互作用　(35) ナノチューブ　(36) ナノワイヤ　(37) NEMS・MEMS　(38) シリセン　(39) 遷移金属ダイカルコゲナイド　(40) 原子層物質　(41) ワイル半金属　(42) その他

領域5（光物性）
領域代表：江馬一弘　領域副代表：田中耕一郎　領域運営委員：高橋和敏　片山郁文　太野垣　健　大畠悟郎　佐藤琢哉

優先順に2つ選択．（基本的には1つめのキーワードによりプログラム編成が行われるが，会場等の事情によっては二つめのキーワードが考慮される．）
（真空紫外・放射光関係）
(1) 放射光・真空紫外・X線吸収分光（MCDを含む）(2) 光電子分光・逆光電子分光　(3) X線発光分光・散乱
（物理現象）
(4) 励起子・ポラリトン　(5) 非線形光学　(6) 超高速現象　(7) 格子振動・光散乱　(8) 緩和励起子　(9) 局在中心　(10) 光誘起相転移　(11) 誘電体の光制御・光学応答　(12) 高密度励起現象
（物質系）
(13) 表面・薄膜　(14) 微粒子・ナノ 結晶　(15) 低次元物質　(16) 超イオン導電体・イオン伝導体　(17) 超伝導体・強相関系　(18) フォトニック結晶・メタマテリアル・プラズモニクス　(19) 磁性体・磁性半導体　(20) 量子井戸・超格子　(21) 新物質
（手法）
(22) 顕微・近接場分光　(23) 新光源・新分光法
（その他）
(24) その他
（注）キーワード（10.光誘起相転移）では領域7（分子性固体）のキーワード（42.光誘起相転移）との合同セッションを設ける．希望者は要旨欄に「領域7合同」と記入すること．キーワード（18.フォトニック結晶・メタマテリアル・プラズモニクス，22.顕微・近接場分光）は，それぞれ領域1（原子分子・量子エレクトロニクス・放射線）のキーワード（33.フォトニックバンド，35.近接場光学）との合同セッションとする．
お知らせ：今回も，前回と同様にポスターセッションを開催する予定です． それについては前述のD項の（b）およびG項の1をご参照ください．

領域6（金属（液体金属・準結晶）・低温（超低温・超伝導・密度波））
領域代表：木村　薫　領域副代表：坪田　誠　領域運営委員：大村訓史　小原　顕　阪本康弘　西尾太一郎

キーワードは下記3分野のうち講演を希望する分野のみから選択すること．
【金属（液体金属・準結晶）分野】
（第一キーワードは1つ選択． 第二キーワードおよび第三キーワードは必要なら適当なものを2つまで選択すること．）
○第一キーワード（物質等）
(1) 液体金属　(2) 液体半導体　(3) 液体混合系　(4) 溶融塩　(5) 分子性液体　(6) イオン性液体　(7) アモルファス　(8) 金属間化合物　(9) 結晶　(10) 準結晶　(11) クラスター　(12) 変調構造・複雑構造系　(13) 準周期系　(14) その他
○第二キーワード（現象）
(15) 静的構造　(16) 動的構造　(17) 電子構造　(18) 電気伝導　(19) 熱伝導　(20) 拡散　(21) 粘性　(22) 緩和現象　(23) 相転移（変態）　(24) 相図（状態図）　(25) 界面及び濡れ　(26) 二相分離・臨界現象　(27) 自己相似性　(28) 超臨界流体　(29) 磁性　(30) ガラス転移　(31) 過冷却現象　(32) 金属-非金属転移　(33) その他
○第三キーワード（方法論）
(34) 回折（X線，中性子線，電子線）　(35) EXAFS　(36) 電子顕微鏡　(37) 電子分光　(38) コンプトン散乱　(39) 陽電子消滅　(40) X

©2015 日本物理学会

線吸収分光 (41) 中性子準弾性・非弾性散乱 (42) X線準弾性・非弾性散乱 (43) 小角散乱 (44) 質量分析・質量選別 (45) 光散乱 (ラマン，ブリルアン，吸収) (46) 超音波測定 (47) 比熱 (48) 密度 (49) 極端条件 (高温，高圧，低温，強磁場等) (50) 実験技術開発 (51) シミュレーション (52) 液体論 (53) バンド計算 (54) その他

【低温 (超低温) 分野】順位をつけて3つまでを選ぶ.

(55) Restricted geometry (56) 低次元系 (57) 量子固体 (58) 量子液体 (59) 電子 (60) He-3 (61) He-4 (62) He3-He4混合体 (63) 核磁性 (64) 渦 (65) 超流動，ボース凝縮 (66) 巨視的量子トンネリング (67) 低温物理 (一般) (68) 低温技術 (69) その他

【低温 (超伝導・密度波) 分野】第一，第二，第三キーワードから各1つ選択. 必要に応じて全体からさらに1〜2個追加しても構わない.

第一キーワード (分野)

(70) 超伝導 (71) 密度波 (72) その他

第二キーワード (物質系・構造)

(73) バルク体 (74) 単結晶 (75) 薄膜 (76) 多層膜 (77) 細線 (量子細線を含む) (78) ネットワーク (79) トポロジカル構造体 (80) 接合系 (81) 界面 (82) 表面 (83) ナノ構造 (84) メゾスコピック構造体 (85) ドット構造 (86) 電気2重層 (87) その他

第三キーワード (研究テーマ)

(88) 新奇超伝導 (89) トポロジカル超伝導 (90) 奇周波数超伝導 (91) 異方的超伝導 (92) 超伝導機構 (93) Tc上昇機構 (94) 非平衡系・ダイナミクス (95) 巨視的量子現象 (96) 秩序共存・競合 (97) 局在・超伝導絶縁体転移 (98) 量子相転移 (99) 輸送現象 (100) マヨナラ粒子 (101) 電子結晶 (102) 渦糸 (103) トポロジカル欠陥 (104) ジョセフソン効果 (105) 近接効果 (106) 極限環境 (107) キャリアー制御 (108) 自己組織化 (109) 理論 (110) 量子ドット (111) デバイス (112) イメージング (113) スペクトロスコピー (114) フェルミ面効果 (115) SQUID関連技術 (デジタルを含む) (116) 実験技術 (117) 鉄系超伝導体 (118) その他

領域7 (分子性固体)

領域代表：鹿野田一司　領域副代表：澤　博　領域運営委員：山本　貴　堤　潤也　宮内雄平　山下　穣

講演内容の特徴を最も的確に表すものを，第一，第二，第三キーワードから各1つ以上選択 (ただし合計で6つ以下). 特に第一キーワードはプログラム編成時に優先されることが多いので，よく検討して最重要のものを最初に記入すること.

○第一キーワード (物質)

(1) ET (BEDT-TTF化合物および特に強い関連のあるもの) (2) TMTSF/TMTTF (3) 含金属有機導体/π-d電子系 (ドナーのMX4塩，金属dmit錯体など) (4) 金属 (架橋) 鎖/配位高分子 (MX,MMXなど) (5) (1)〜(4) 以外の有機導体 (TTF-TCNQ，新規非対称ドナー分子など) (6) 導電性高分子/共役系高分子 (7) フラーレン (8) ナノチューブ (9) グラフェン関連 (10) グラファイト (11) クラスター (12) 籠状物質・ネットワーク物質 (クラスレート化合物，ゼオライト等) (13) 有機表面/界面物質 (14) LB膜 (15) 分子磁性体 (16) 分子性固体 (17) 新物質 (18) 分子・界面デバイス (19) その他

○第二キーワード (現象・対象)

(20) SDW/CDW/スピンパイエルス状態 (21) 超伝導/異方的超伝導 (22) 電子構造 (フェルミ面/バンド構造など) (23) キャリアドーピング/バンドフィリング (24) 界面パイ電子系 (25) 分子デバイス (26) 量子効果 (27) 非線形励起 (28) 強相関 (29) 電子格子相互作用/格子振動 (30) 金属-絶縁体転移 (31) 中性-イオン性転移 (32) 電荷秩序化 (33) モット転移 (34) その他の相転移/臨界現象 (35) 電気抵抗/磁気抵抗/ホール効果 (36) 非線形伝導 (37) 高圧物性 (38) 異方的変形 (39) 静水圧 (40) 磁性 (41) 光物性 (42) 光誘起相転移 (43) 構造 (44) 熱的性質 (45) 音波物性 (46) 新物性 (47) その他

○第三キーワード (研究手段)

(48) 構造解析 (49) 輸送測定 (50) 分光 (51) 磁性/磁気共鳴 (52) 熱測定 (53) 実験一般 (54) 理論/計算 (55) 物質開発 (56) FET/その他分子デバイス (57) その他

(注) キーワード (42. 光誘起相転移) では領域5 (光物性分野) との合同セッションを設ける. 希望者は要旨欄に「領域5合同」と記入すること.

(注) 発表者・聴衆の便利のため，関連性が強いと思われる講演を組み合わせて領域9との間で機動的に合同セッションを組むことがあります.

(注) グラフェン関連の講演については領域4との間で関連性が強いと思われる講演を組み合わせて合同セッションを組むことがあります.

(注) キーワード (21) 超伝導/異方的超伝導 (28) 強相関 (30) 金属-絶縁体転移 (33) モット転移 (34) その他の相転移/臨界現象，またキーワード (23) キャリアドーピング/バンドフィリング (24) 界面パイ電子系を選んだ講演に対して，それぞれのテーマに関して領域8との合同セッションを設ける. これらのキーワードを選んだ講演者は，要旨欄に「領域7&8合同セッションを，a希望する，b希望しない，cどちらでもよい」のいずれかを記入すること.

領域8 (強相関電子系)

領域代表：遠山貴巳　領域副代表：佐藤憲昭

領域運営委員：川崎慎司　酒井志朗　卞　舜生　浅井栄大　谷田博司　松浦弘泰　池内和彦　酒井英明　町田　洋

まず第一，第二，第三，第四キーワードから必ず順番に一つずつ番号を記入する. その後に全キーワードから2つまで番号を追加記入できる.

○第一キーワード (研究分野)

©2015 日本物理学会

(1) d電子系　(2) f電子系　(3) p電子系　(4) 磁束量子系　(5) その他
○第二キーワード（対象物質系）
(21) チタン酸化物　(22) バナジウム酸化物　(23) マンガン酸化物　(24) 鉄系超伝導体　(25) コバルト酸化物　(26) 銅酸化物　(27) ルテニウム酸化物　(28) イリジウム酸化物　(29) その他の遷移金属化合物　(30) パイロクロア・スピネル酸化物　(31) 炭化・硼化物　(32) 有機物　(33) スクッテルダイト関連物質　(34) 希土類化合物（Ce系）　(35) 希土類化合物（Pr系）　(36) 希土類化合物（Yb系）　(37) 希土類化合物（その他）　(38) アクチナイド化合物　(39) その他
○第三キーワード（研究手段）
(41) 理論（理論セッションでの講演）　(42) 理論（実験セッションでの講演）　(43) 磁気共鳴及びメスバウアー効果　(44) 中性子，X線，及び粒子線　(45) 光学測定　(46) 光電子分光　(47) トンネル分光　(48) 超音波，高周波，及び電磁波測定　(49) 伝導，磁化，及び熱測定　(50) 置換効果及び不純物効果　(51) 圧力効果　(52) その他
○第四キーワード（研究テーマ）
(61) 超伝導　(62) 超伝導対称性及び発現機構　(63) 擬ギャップ及びスピンギャップ　(64) ストライプ秩序　(65) トンネル効果及びジョセフソン効果　(66) 渦糸相図とダイナミクス　(67) 混合状態，磁束・渦糸状態　(68) 巨大磁気抵抗　(69) 軌道自由度　(70) 電荷整列　(71) 多極子秩序　(72) 重い電子系及び価数揺動　(73) 近藤絶縁体及び少数キャリアー　(74) モット転移　(75) エネルギーバンド及びフェルミオロジー　(76) 磁気励起及び磁気構造　(77) 熱物性及び輸送現象　(78) フォノン物性　(79) 相転移及び臨界現象　(80) 強相関デバイス　(81) 電界効果　(82) マルチフェロイクス　(83) 幾何学的フラストレーション効果　(84) 装置開発　(85) 新物質探索　(86) 籠状物質　(87) トポロジカル物質　(88) その他
(注) Webページによる講演申込の際，講演題目は正確に入力すること．化学式の添字など，上付き文字および下付き文字は，原則として物理学会記法（表現できない場合は LaTeX 表記）により表記すること．
(注) キーワード (62) 超伝導対称性及び発現機構 (74) モット転移 (79) 相転移および臨界現象，を選んだ講演，またキーワード (81) 電界効果を選んだ講演に対して，それぞれのテーマに関して領域7との合同セッションを設ける．これらのキーワードを選んだ講演者は，要旨欄に「領域7&8合同セッションを，a希望する，b希望しない，cどちらでもよい」のいずれかを記入すること．
(注) キーワード「(82) マルチフェロイクス」を選んだ口頭講演は，領域3の関連するテーマの講演と合同セッションを設ける．
(注) キーワード「(87) トポロジカル物質」を選んだ口頭講演に対して，領域4, 9との合同セッションを設ける．これらのキーワードを選んだ講演者は，要旨欄に「領域4，8&9合同セッションを，a希望する，b希望しない，cどちらでもよい」のいずれかを記入すること．

領域9（表面・界面，結晶成長）
領域代表：平山博之　領域副代表：吉信　淳
領域運営委員：長嶋　剣　中川剛志　三浦良雄　神子公男　八田振一郎　平原　徹

第一，第二，第三キーワードから各一つ選択．第一キーワードはセッションの大分類に用いる．第一キーワードで (71〜76) 新トピックスを選択する場合は，(71)〜(76) のうちから一つを選択し記入．
○第一キーワード（研究分野）
(1) 結晶成長　(2) 表面界面電子物性　(3) 表面界面構造　(4) 表面界面ダイナミクス　(5) 表面ナノ構造量子物性　(6) ナノ結晶・クラスタ，新トピックス［(71) 表面磁性　(72) 表面局所光学現象　(73) ナノチューブ・ナノワイヤ　(74) 水素ダイナミクス　(75) トポロジカル表面　(76) グラフェン・ナノシート］
○第二キーワード（物質等）
(21) 金属　(22) 半導体　(23) 無機化合物　(24) 有機化合物　(25) 高分子・バイオマテリアル・コロイド　(26) トポロジカル絶縁体　(27) その他
○第三キーワード（手段等）
(31) 走査プローブ顕微鏡法　(32) 電子顕微鏡法　(33) 分光　(34) 回折　(35) その場観察　(36) 技術開発　(37) 理論・シミュレーション　(38) 結晶評価　(39) 核生成　(40) その他
(注) 口頭発表で，キーワード「表面磁性」を選んだ場合は，領域3キーワード「表面・界面磁性」との合同セッションとなる
(注) 発表者・聴衆の便利のため，関連性が強いと思われる講演を組み合わせて領域7または領域10との間で機動的に合同セッションを組むことがある．
(注) 口頭発表でキーワード (75) トポロジカル表面を選んだ講演に対して，領域4・8との合同セッションを設けることがある．

領域10（誘電体，格子欠陥，X線・粒子線，フォノン）
領域代表：阿部浩二　領域副代表：田中良和
領域運営委員：Voegeli Wolfgang　澁谷憲悟　君塚　肇　森　龍也　幸田章宏　中川幸子　若生　啓　松浦直人

第一キーワードを一つ選択する．その研究分野での講演となる．第二キーワードと第三キーワードから必ず一つ以上選択する．第二キーワードは第一キーワードで選択した分野の中から選択する．第三キーワードは他の研究分野の第二キーワードから選択してもよい．
○第一キーワード（研究分野）
(1) 誘電体　(2) 格子欠陥・ナノ構造　(3) フォノン　(4) X線・粒子線
○第二キーワード

©2015 日本物理学会

［誘電体分野］
(5) リラクサー (6) 薄膜・多層膜 (7) 酸化物系 (8) マルチフェロイック (9) 水素結合系 (10) ドメイン (11) 複雑系 (ガラス・アモルファス) (12) 光効果・光物性 (13) 電場効果・電子物性
［格子欠陥・ナノ構造分野］
(14) シミュレーション (15) 金属 (16) 半導体 (17) 表面・界面 (18) 微粒子 (19) 転位・面欠陥 (20) 電子論・電子状態 (21) 点欠陥・照射損傷 (22) 水素 (23) 炭素系物質
［フォノン分野］
(24) フォノニック結晶 (25) ナノ・フォノニクス (26) フォノン構造 (27) ラットリング (28) フォノンレーザ
［X線・粒子線分野］
(29) X線 (30) 電子線 (31) 陽電子 (32) 中性子 (33) ミュオン (34) その他粒子線 (35) XFEL (36) EUV-FEL
○第三キーワード
(37) 理論 (38) 物質創成 (39) セラミックス (40) ペロブスカイト (41) 結晶 (42) 準結晶 (43) 液体・気体 (44) 超格子 (45) 不整合相 (46) 相転移 (47) ガラス転移 (48) 拡散・緩和現象 (49) ダイナミックス (50) 不純物物性 (51) 力学物性 (52) 分光法 (53) 陽電子消滅 (54) 運動量分布 (55) 磁性 (56) 強誘電性 (57) 強弾性 (58) 超音波 (59) 非線型光学 (60) 構造解析 (61) 回折・散乱法・干渉 (62) イメージング法 (63) 顕微法 (64) ホログラフィ (65) 時間分解測定 (66) 物性測定 (67) 核物性測定 (68) 高圧 (69) NMR・ESR (70) 装置開発 (71) 解析法 (72) 輸送現象 (73) ナノ粒子 (74) 光散乱 (75) 誘電分散 (76) 硫安系・TGS系 (77) 音響フォノン (78) フォノン導波路 (79) フォノン・ポーラリトン (80) 非調和性 (81) 格子力学 (82) その他
(注) 本領域 (格子欠陥・ナノ構造分野) と領域9 (表面・界面，結晶成長) または，本領域 (X線・粒子線) と領域1 (原子分子分野) との合同セッションを希望する方は，第一キーワードとして，それぞれ，(2) 格子欠陥・ナノ構造，または，(4) X線・粒子線 を選択し，要旨欄に「領域9合同」，または，「領域1合同」と記入すること．
(注) 本領域 (X線・粒子線分野) の第二キーワード (31) 陽電子，(32) 中性子，(33) ミュオンでは，ビーム物理領域と合同セッションを設ける． 希望者は要旨欄に「ビーム物理領域合同」と記入すること．希望が無い場合でも，領域運営委員の判断において合同セッションとすることがある．

領域11 (物性基礎論・統計力学・流体物理・応用数学・社会経済物理)
領域代表：宮下精二　領域副代表：山田道夫
領域運営委員：佐藤　純　吉岡直樹　藤本祥二　雑賀洋平　清水雅樹　乙部智仁　手塚真樹　寺前順之介

第一・第二・第三キーワードを一つずつ選択すること．セッション分類は主に第一キーワードに基づいておこない，必要に応じて第二・第三キーワードを加味する．キーワード選択が適切でない場合，結果として本人の意図と異なるセッションに振り分けられることもあるので，よく検討すること．
(統計力学・物性基礎論分野)
○第一キーワード (対象：モデル・系など)
(1) スピングラス・ランダムスピン系 (2) 古典フラストレート系 (3) 古典スピン系一般 (4) 量子スピン系・ボゾン系 (5) 電子系 (6) 冷却原子系 (7) 量子カオス系 (8) 量子論基礎 (9) その他の量子力学系 (10) ニューラルネットワーク (神経系のモデルを含む) (11) ネットワーク一般 (12) 生物・生態系 (領域12との合同セッション) (13) 社会系 (言語・ゲーム等を含む) (14) 経済物理学 (15) 情報統計力学 (16) 保存力学系 (17) 反応拡散系 (18) 振動子系 (19) アクティブマター (20) 力学系 (多体系など) (21) 確率過程・確率モデル (パーコレーションを含む) (22) 粉体・交通流 (23) 摩擦・地震 (24) 統計力学基礎論 (25) 非平衡揺らぎ (26) ガラスおよびその関連系 (領域12との合同セッション) (27) その他の系
○第二キーワード (現象など)
(28) 平衡系の相図・相転移・臨界現象 (29) 量子相転移 (30) エンタングルメント (31) 準位統計・半古典論 (32) 緩和・履歴・応答・輸送 (33) 非平衡系の転移現象 (34) 非平衡系のゆらぎ (35) 非線形現象 (36) フラクタル (37) 統計則 (べき法則等) (38) 社会・経済 (39) 学習・連想記憶 (40) 進化・適応・絶滅 (41) 画像修復・最適化 (42) 手法開発 (43) 低自由度カオス (分岐を含む) (44) 大自由度カオス (45) パターン形成・破壊・自己組織化・境界の運動 (46) 対流・乱流 (47) その他の現象
○第三キーワード (方法)
(48) 厳密解 (49) 摂動法 (50) 変分法 (51) 第一原理計算 (52) 密度行列繰り込み法 (53) その他の解析計算 (54) その他の現象論的解析 (55) 数値的対角化法 (56) モンテカルロシミュレーション (57) 分子動力学シミュレーション (58) その他の数値計算 (59) 実験 (60) データ分析・可視化
(応用数学・力学・流体物理分野)
○第一キーワード (対象)
(61) 古典・量子可積分系 (62) 離散系 (超離散系・セルオートマトンなどを含む) (63) 力学系 (応用数学・カオスなど) (64) 数値計算アルゴリズムとアルゴリズム一般 (65) その他の数理モデル (66) 剛体・弾性体 (67) 複雑流体 (非ニュートン流体・多成分流体・多相流体などを含む) (68) 非圧縮性流体 (69) 圧縮性流体・希薄気体 (70) 電磁流体 (71) 熱流体 (72) 地球・宇宙流体 (回転・成層流体などを含む)
○第二キーワード (現象)

©2015 日本物理学会

(73) 保存則・対称性　(74) ソリトン　(75) パンルベ性　(76) 波動 (非線形波動・音波・衝撃波などを含む)　(77) 乱流　(78) カオス
(79) 安定性と分岐・遷移　(80) 輸送・拡散　(81) 自己組織化 (秩序構造・パターン形成)　(82) 遅い流れ　(83) 物体まわりの流れ　(84) 渦運動　(85) 自由境界運動 (波動を除く)
○第三キーワード (方法)
(86) 厳密解法・解析手法　(87) 数値シミュレーション　(88) 摂動法・近似理論・モデル　(89) 実験　(90) 可視化

領域12 (ソフトマター物理・化学物理・生物物理)
領域代表：福田順一　領域副代表：高須昌子
領域運営委員：菱田真史　岡本隆一　冨樫祐一　及川典子　古府麻衣子　奥村久士

第一・第二キーワードは適当なものを1つずつ選択すること．第三キーワードは複数選択可．セッション分類は第一キーワードに基づいて行う．
○第一キーワード
(融合)
(1) 過冷却・ガラス　(2) 光合成・光生物　(3) シミュレーション手法　(4) 生体膜　(5) アクティブマター
(ソフトマター)
(6) 高分子　(7) コロイド分散系　(8) ゲル・ゾル　(9) 両親媒性分子　(10) 液晶　(11) 構造・レオロジー　(12) ソフトマター物理一般
(化学物理)
(13) 化学反応　(14) 光応答・光散乱　(15) 溶液・液体　(16) 水和・溶媒和　(17) 量子系・電子状態　(18) 化学物理一般
(生物物理)
(19) タンパク質・核酸　(20) 細胞小器官　(21) 細胞・組織・器官　(22) 生物個体・生態系　(23) ネットワーク系　(24) 生物物理一般
○第二キーワード
(25) 実験　(26) 理論　(27) シミュレーション　(28) データ解析
○第三キーワード
(29) 固体物性　(30) 結晶成長　(31) 構造・パターン形成　(32) 結晶化・融解　(33) 相分離　(34) 相転移　(35) 液液転移　(36) ガラス転移　(37) エイジング　(38) ジャミング転移　(39) 濡れ　(40) 接着　(41) 破壊　(42) サスペンション　(43) 界面　(44) 薄膜　(45) バイオマター　(46) 緩和現象　(47) 誘電緩和　(48) 水素結合　(49) X線散乱　(50) 中性子散乱　(51) NMR・ESR　(52) 動的不均一性　(53) 拡散・輸送　(54) 集団運動　(55) 自己組織化　(56) クラスター　(57) 階層構造　(58) 非線形　(59) 非平衡　(60) 新奇な現象　(61) 分子構造　(62) 励起状態　(63) 非断熱遷移　(64) 電子移動反応　(65) プロトン移動　(66) 光反応　(67) 折り畳み　(68) 揺らぎ・構造変化　(69) 構造・機能　(70) 分子モーター　(71) 単一分子観測・操作　(72) バイオイメージング　(73) バイオメカニクス　(74) 生体リズム　(75) 生体情報伝達　(76) 神経・脳　(77) 発生・分化　(78) 代謝・行動　(79) 遺伝・進化　(80) 放射線生物学　(81) 数理生物学　(82) メソスケールダイナミクス　(83) 分子シミュレーション　(84) 流体力学的計算手法

領域13 (物理教育，物理学史，環境物理)
領域代表：高岩義信　領域副代表：高橋尚志　領域運営委員：古田忠臣　八幡和志　雨宮高久　長谷川大和

第一キーワード (研究分野)，第二キーワード (セッション分類) から各1つ選択．第1キーワードは必ず指定すること．
○第一キーワード：
(1) 物理教育　(2) 物理学史　(3) 環境物理
○第二キーワード：
(物理教育)
(4) カリキュラム研究・開発　(5) 教材研究・開発　(6) 指導法・教授法　(7) 学習理論・認知科学　(8) 教育調査　(9) 授業評価・教育評価　(10) 初等中等教育　(11) 高等教育 (12) 教員養成・教師教育 (13) 市民・社会教育 (14) 物理教育一般・その他
(物理学史)
(15) 哲学・思想　(16) 学説史　(17) 社会史　(18) 資料問題　(19) その他
(環境物理)
(20) 総論 (方法論・熱学的考察・統計物理学的考察・その他)　(21) 地球システム・物質循環・生命系　(22) エネルギー・資源・エコマテリアル　(23) 廃棄物・環境汚染・電磁波・放射線　(24) 環境評価・環境技術・環境政策　(25) 環境教育・環境史　(26) その他

©2015 日本物理学会

(別表2) 合同セッションのある領域

希望者は指定事項をWeb申込ページあるいは講演申込書の適切な欄に記入すること.

合同セッションテーマ	関係領域	キーワード等
素粒子論領域と理論核物理領域にわたるテーマ	素粒子論領域 理論核物理領域	素粒子論領域と理論核物理領域は合同セッションを設けることがある. 合同セッションとするテーマや講演は,希望状況を考慮し,各領域運営委員の判断において決定する.
二重ベータ崩壊・暗黒物質探索	素粒子論領域 素粒子実験領域 理論核物理領域 実験核物理領域 宇宙線・宇宙物理領域	合同セッションとする講演は領域運営委員の判断において決定する.講演希望者は,実験核物理領域からキーワード「S: 二重ベータ崩壊(合同)」もしくは「T: 暗黒物質探索(合同)」を用いて講演申込を行うこととする.一題目につき,講演時間は10分,質問時間を5分とする.
ニュートリノ振動	素粒子論領域 素粒子実験領域 宇宙線・宇宙物理領域	合同セッションとする講演は領域運営委員の判断において決定する.講演希望者は宇宙線・宇宙物理領域からキーワード「I: ニュートリノ振動(合同)」を用いて講演申し込みを行うこととする.一題目につき,講演時間は10分,質問時間を5分とする.
量子論基礎	素粒子論領域 宇宙線・宇宙物理領域領域1(原子分子・量子エレクトロニクス・放射線) 領域11(物性基礎論・統計力学・流体物理・応用数学・社会経済物理)	いずれの領域に申し込んでもこの合同セッションでの講演希望者は,要旨欄に「量子論基礎合同希望」と記入すること.合同セッション開催の有無は,希望状況を考慮し,領域運営委員の判断において決定する.
高エネルギーQCD・核子構造	素粒子実験領域 実験核物理領域	通常の合同領域は標記の2領域であるが,領域運営委員の判断で,素粒子論領域や理論核物理領域を加えての合同セッションとすることもある.講演希望者は,実験核物理領域からキーワード「R: 高エネルギーQCD・核子構造(合同)」を用いて講演申し込みを行うこととする.一題目につき,講演時間は10分,質問時間を5分とする.
測定器	素粒子実験領域 実験核物理領域	合同セッションとする講演は領域運営委員の判断において決定する.講演希望者は,素粒子実験領域からキーワード「L: 測定器(合同)」を用いて講演申し込みを行うこととする.一題目につき,講演時間は10分,質問時間を5分とする.
宇宙背景輻射	素粒子実験領域 宇宙線・宇宙物理領域	合同セッションとする講演は領域運営委員の判断において決定する.講演希望者は宇宙線・宇宙物理領域からキーワード「K: 宇宙背景輻射(合同)」を用いて講演申し込みを行うこととする.一題目につき,講演時間は10分,質問時間を5分とする.
フォトニック結晶・メタマテリアル・プラズモニクス,および顕微・近接場光学	領域1(原子分子・量子エレクトロニクス・放射線) 領域5(光物性)	領域1(キーワード「33. フォトニックバンド」「35. 近接場光学」)と領域5(キーワード「18. フォトニック結晶・メタマテリアル・プラズモニクス」「22. 顕微・近接場分光」)との合同セッションを設ける.希望者は,それぞれキーワードを選択し,要旨欄に「領域1 合同」あるいは「領域5 合同」と記入すること.
超伝導,強相関系	領域3(磁性,磁気共鳴分野) 領域8(強相関電子系)	領域8のキーワード「(82) マルチフェロイクス」を選んだ口頭講演は,領域3の関連するテーマの講演と合同セッションを設ける.
表面・界面磁性	領域3(磁性) 領域9(表面・界面,結晶成長)	領域3のキーワード(表面・界面磁性),領域9のキーワード(表面磁性)を選んだ口頭発表について合同セッションを設ける.
グラフェン及び関連物質	領域4(半導体,メゾスコピック系・局在) 領域7(分子性固体)	グラフェン及び関連物質の講演について関連性が強いと思われる講演を組み合わせて合同セッションを組みます.

©2015 日本物理学会

トポロジカル表面関係	領域4（半導体，メゾスコピック系・局在） 領域8（強相関電子系） 領域9（表面・界面，結晶成長）	領域4のキーワード（トポロジカル絶縁体・トポロジカル超伝導），領域8のキーワード（トポロジカル物質），領域9のキーワード（トポロジカル表面）を選んだ口頭発表について，合同セッションを設けることがある．領域8でキーワード（トポロジカル物質）を選んだ講演者は，要旨欄に「領域4，8&9 合同セッションを，a希望する，b希望しない，cどちらでもよい」のいずれかを記入すること。
光誘起相転移	領域5（光物性） 領域7（分子性固体）	光誘起相転移，およびそれに関した現象について合同セッションを設ける．希望者はそれぞれ分野，キーワードを選択し，要旨欄に「領域5 合同」あるいは「領域7 合同」と記入すること．
超伝導，強相関電子系	領域7（分子性固体） 領域8（強相関電子系）	領域 7 のキーワード「(21) 超伝導/異方的超伝導 (28) 強相関 (30) 金属-絶縁体転移 (33) モット転移 (34) その他の相転移/臨界現象」，領域 8 のキーワード「(62) 超伝導対称性及び発現機構 (74) モット転移 (79) 相転移および臨界現象」を選んだ講演については，合同セッションを設けることを検討する．これらのキーワードを選んだ講演者は，要旨欄に「領域7 & 8 合同セッションを，a 希望する，b 希望しない，c どちらでもよい」のいずれかを記入すること．なお，プログラム編成上合同セッションに関するご希望に添えないこともあります．
電界効果，キャリアドーピング	領域7（分子性固体） 領域8（強相関電子系）	領域 7 のキーワード「(23) キャリアドーピング/バンドフィリング (24) 界面パイ電子系」，領域 8 のキーワード「(81) 電界効果」を選んだ講演については，合同セッションを設けることを検討する．これらのキーワードを選んだ講演者は，要旨欄に「領域 7 & 8 合同セッションを，a 希望する，b 希望しない，cどちらでもよい」のいずれかを記入すること．なお，プログラム編成上合同セッションに関するご希望に添えないこともあります．
炭素化合物表面・界面	領域7（分子性固体） 領域9（表面・界面，結晶成長）	発表者・聴衆の便利のため，関連性が強いと思われる講演を組み合わせて，領域7と領域9の間で機動的に合同セッションを組むことがあります．
ガラス関連	領域11（統計力学・物性基礎論） 領域12（融合分野）	領域12：第1キーワード「過冷却・ガラス」または第2キーワード「ガラス転移」，領域11：第1キーワード「ガラスおよびその関連系」．希望者は，それぞれの領域の該当するキーワードを選択して，合同セッション希望をチェックするとともに，要旨欄に「領域12&11合同」と記入すること．ただし，合同セッションを希望していなくても関連する講演は，合同セッションに含めることもある．
生物系関係	領域11（生物・生態系） 領域12（生物物理）	希望者はそれぞれの領域の第1キーワードを選択し，合同セッション希望をチェックするとともに，要旨欄に「領域11&12合同」と記入すること．ただし，合同セッション開催の有無および合同セッションとする講演は，希望状況を考慮し，領域運営委員の判断において決定する．また，合同セッションを希望していなくても関連する講演は，合同セッションに含めることもある．

■託児室設置について

秋季大会においても両会場で託児室を設置する予定です．詳しくはホームページでご案内致しますので，そちらをご覧下さい．

©2015 日本物理学会